

## 人材育成学会・グローバル人材育成研究プロジェクト 最終報告シンポジウム

### 人材育成学会第 45 回研究会\*\*

## 新たなるグローバル人材：外国人留学生の雇用と課題

今日の日本には 30 万人をこえる外国人留学生がいる。彼ら彼女らは、強い向学心のもと大いなる希望を抱いて来日した人たちである。母国を離れて勉学に励むほどの海外志向性と積極性を持ち、複数言語対応能力、高い異文化適応能力、さらには日本文化に対する一定の理解や日本的価値判断も身につけた人材が多い。コストと時間のかかるグローバル人材の企業内育成、さらに人材の海外現地調達と比べてみれば、こうした外国人留学生は「高度人材」の卵として今日の企業組織の羨望的であるはずである。

最近の調査によると、外国人留学生の 65%ほどは、学業を終えた後日本での就職を希望する。しかし、実際に日本で職に就くのは 35%程度である。なぜ、これほどギャップがあるのか。この問いに対して、日本の企業組織と外国人留学生双方の歩み寄り努力の不足を指摘する声が以前からある。しかし、こうした指摘が、両者の関係改善さらには「理想の結びつき」に繋がっているようには見えない。この「なぜ」に答えるためには、こうした「外からの呼びかけ」に終始するのではなく、むしろ日本の企業組織と外国人留学生が交わる瞬間に創出される空間で展開される二者の相互作用を凝視し、その空間で何が起きているかをしっかりと観察し、分析する必要がある。この認識のもと、2018 年秋、人材育成学会グローバル人材育成研究プロジェクト「第三の道・外国籍留学生の雇用と課題」が開始された。

日本企業のグローバル化は、今、新しい局面を迎えている。「グローバル人材」という言葉すら巷にはなかった 1990 年代に始まり、企業内研修制度のもとで社員をグローバル人材へと育成する第一の道、そして海外現地本部でグローバル人材を調達する第二の道を経て、今日、外国人留学生にその第三の道を見出そうとしている。

2019 年、日本政府が「高度外国人材」の積極的雇用拡大に乗り出すなど、今日では外国人人材に多くの注目が集まる。日本の企業にとって、外国人留学生とはどのような人材なのだろうか。また、外国人留学生には、日本企業はどのように映っているのだろうか。日本の企業組織と外国人留学生が織りなす空間を微細に観察することで、今日の日本企業組織そして雇用の新しい姿が見えるかもしれない。

\*\*本シンポジウムは、2022 年度第 1 回目の人材育成学会研究会（第 45 回研究会）も兼ねています。

### 人材育成学会・グローバル人材育成研究プロジェクト世話人

亀野 淳（北海道大学）

小山 健太（東京経済大学）

須田 敏子（青山学院大学）

高橋 修（宮城大学）

野宮大志郎（中央大学）

宮下 清（長野県立大学）

## プログラム

13:00-13:15	開会宣言		A,B 各チームより挨拶
	A チーム発表	B チーム発表	
13:15-13:45	外国籍学生の採用目的からみた求める能力の相違に関する実証分析：企業へのアンケート調査をもとに（亀野淳）	就労可能な在留資格からみる日本における高度外国人材のキャリア発達の道筋（豊田香）	
13:45-14:15	外国籍学生を採用した経験のある企業の特徴：「外国籍学生の採用・定着に関する企業アンケート調査」の分析（高橋修）	電機メーカーA社におけるダイバーシティ&インクルージョンの事例：A Circular, Two-Stage Process of Diversity and Inclusion の視点に注目して（坂井伸彰, 須田 敏子）	
14:15-14:45	外国人留学生の採用に傾く心理プロセス：採用ループ論の提案（野宮大志郎）	外国籍人材も活躍できる組織づくり：東芝グループでのグローバル・グレードの実践事例と課題（呉怡, 糸賀尚子, 蒙韞, 小山健太, 本名勝）	
14:45-15:00	休憩		
15:00-15:30	中小・中堅企業におけるグローバル人材活用（外国籍学生の活用）に関する考察（熊谷直次, 陶山千里）	日本企業における外国人材の働き方・キャリア意識：日本企業A社における外国籍高度専門人材の獲得・活躍の考察（中島剛, 須田敏子, 豊田香）	
15:30-16:00	外国人留学生の採用と定着：採用ループ論の再検討（門間由記子）	金融機関にみる外国人社員の人事管理と組織社会化（川並剛, 宮下清）	
16:00-16:30	"外国籍学生新卒採用が日本人社員と組織運営へ与える影響の検討：横浜市内X社インタビュー調査報告（河瀬恵子）	企業がグローバル人材に求める「多言語能力」「コミュニケーション能力」「異文化対応力」「プレゼンテーション能力」の一考察：量的・質的分析から分かったこと（蒙韞, 陶山千里, 糸賀尚子, 呉怡, 本名勝）	
16:30-16:45	閉会の辞		

## オンライン・シンポジウム 参加案内

期間内に登録された方には、シンポジウム全発表のオリジナル論文と参考資料が掲載された『報告集 pdf 版』（200 ページ程度）を事前にお送りいたします。

- シンポジウム開催日時：2022 年 9 月 4 日（日） 13:00～16:45（受付 12：30～）
- 申込方法： 以下の URL にアクセスして、専用の申込フォームに必要事項を入力してください。

<https://bit.ly/jahrd20220904>

① メールアドレス ②会員・非会員の別 ③会員番号（会員の方のみ）  
④お名前 ⑤ご所属

- 参加通知： 研究会が開催されます ZOOM のミーティングルームへのアクセス権限は、期限内に参加申込された方のみ付与されます。シンポジウム参加のための ID およびパスワードは、Eメールで開催日の 2 日前までにお知らせいたします。
- 受講票： 上記のミーティング参加の ID およびパスワードの発行をもって受講票といたします。
- 申込み締切：2022 年 9 月 1 日（木）
- 問合せ先： 〒158-8630 東京都世田谷区等々力 6-39-15  
学校法人産業能率大学内 人材育成学会 研究会事務局宛  
[JAHRD@hj.sanno.ac.jp](mailto:JAHRD@hj.sanno.ac.jp)（お問合せは E メールでお願いします）

以上